



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 日本化学産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 百瀬 譲 (TEL) 03-5246-3540
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	18,628	7.5	2,369	△24.4	2,744	△19.1	1,850	△24.9
2022年3月期第3四半期	17,336	23.5	3,133	100.1	3,392	92.7	2,464	101.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,294百万円(△58.8%) 2022年3月期第3四半期 3,140百万円(27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.78	—
2022年3月期第3四半期	124.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	49,555	42,633	86.0
2022年3月期	49,487	41,973	84.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,633百万円 2022年3月期 41,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2022年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,670	12.5	3,300	△21.9	3,540	△21.5	2,440	△24.6	122.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,680,000株	2022年3月期	20,680,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	949,396株	2022年3月期	949,396株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	19,730,604株	2022年3月期3Q	19,872,827株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行 (役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式 (2023年3月期第3四半期82,345株、2022年3月期82,345株) が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行 (役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年12月31日)のわが国経済は、行動制限が緩和されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、ウクライナ情勢の長期化に起因する資源・エネルギー価格の上昇や急激な円安による物価高騰等、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま、推移しました。

このような状況のもと、当社グループは生産活動等に影響を及ぼさないよう引き続きコロナ対策を徹底するとともに、事業環境の激変の中でも需要を的確に捉え、更に新しい需要の掘り起こしにも取り組み、既存製品等の販売・生産数量の確保・拡大に努めてまいりました。また、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザーの開拓も引き続き推進し、薬品部門でのリサイクル原料の活用・拡大や会社全体での更なるITを活用した業務の効率化にも取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比1,292百万円 7.5%増の18,628百万円となったものの、コスト増等から営業利益は前年同四半期比763百万円 24.4%減の2,369百万円、経常利益は前年同四半期比648百万円 19.1%減の2,744百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比614百万円 24.9%減の1,850百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

① 薬品事業

主力の薬品事業は、電子部品、触媒関連向けを中心に需要が伸びず、既存製商品の販売数量が伸び悩んだものの、全般的には非鉄金属相場が高止まり、それに連動する販売単価が前年同四半期に比べて上昇したことに加え、新たに埼玉工場での二次電池用正極材受託加工が開始されたこと等により、売上高は前年同四半期比1,284百万円 8.9%増の15,663百万円となりました。

利益面では、販売数量の伸び悩みに加え、原材料や部材価格、電力費の高騰を売価に全面的に転嫁できず営業利益は前年同四半期比521百万円 18.7%減の2,263百万円となりました。

② 建材事業

建材事業は、主力の住宅建材製品の需要が伸び悩み、売上高は前年同四半期比8百万円 0.3%増の2,965百万円に留まり、鋼材価格高騰の売価への反映は一部転嫁できたものの全般的には反映しえず、営業利益は前年同四半期比135百万円 15.5%減の743百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における流動資産は、売上債権は減少したものの、現金及び預金、棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比1,390百万円増の31,292百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が機械及び装置等の減価償却が進み前連結会計年度末比31百万円減の7,319百万円となり、投資その他の資産が保有株式の株価の下落等で前連結会計年度末比1,260百万円減の10,813百万円となったことにより、前連結会計年度末比1,322百万円減の18,262百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比67百万円増の49,555百万円となりました。一方、流動負債は、短期借入金が増加したものの、未払法人税等が減少したことにより、前連結会計年度末比329百万円減の5,380百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金減少に伴う繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比263百万円減の1,541百万円となったことから、負債合計は前連結会計年度末比592百万円減の6,922百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比660百万円増の42,633百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.8%から86.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、前述の通り、総じて需要が回復せず厳しい状況が続いておりますが、通期の連結業績に対して、現在までのところ概ね想定範囲内で推移しており、配当についても、当社の配当方針に従って2022年11月8日公表の予想から変更しておりません。

尚、今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,986,949	18,254,442
受取手形及び売掛金	7,663,838	7,133,487
電子記録債権	621,145	571,131
商品及び製品	1,677,886	2,095,019
仕掛品	1,214,952	1,287,105
原材料及び貯蔵品	1,675,852	1,837,047
その他	63,488	116,083
貸倒引当金	△1,620	△1,400
流動資産合計	29,902,493	31,292,918
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,181,628	2,080,543
その他(純額)	5,169,760	5,238,940
有形固定資産合計	7,351,388	7,319,483
無形固定資産		
	160,119	129,320
投資その他の資産		
投資有価証券	8,839,132	7,655,445
繰延税金資産	1,263	11,911
その他	3,235,096	3,148,050
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	12,073,922	10,813,837
固定資産合計	19,585,430	18,262,641
資産合計	49,487,923	49,555,559
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,702,064	2,863,413
電子記録債務	424,706	456,746
短期借入金	373,800	655,200
未払法人税等	920,305	91,594
賞与引当金	495,000	200,000
役員賞与引当金	40,000	30,000
資産撤去引当金	-	55,500
その他	753,710	1,027,910
流動負債合計	5,709,586	5,380,365
固定負債		
繰延税金負債	1,352,550	1,026,608
退職給付に係る負債	319,672	331,115
役員株式給付引当金	83,933	100,944
資産除去債務	600	35,463
その他	48,391	47,760
固定負債合計	1,805,149	1,541,891
負債合計	7,514,735	6,922,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,059,147	1,059,147
利益剰余金	37,009,623	38,225,986
自己株式	△790,463	△790,463
株主資本合計	38,312,308	39,528,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308,713	2,487,819
為替換算調整勘定	278,415	555,271
退職給付に係る調整累計額	73,750	61,540
その他の包括利益累計額合計	3,660,879	3,104,630
純資産合計	41,973,187	42,633,302
負債純資産合計	49,487,923	49,555,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	17,336,568	18,628,953
売上原価	11,976,585	14,020,128
売上総利益	5,359,982	4,608,825
販売費及び一般管理費	2,226,938	2,239,489
営業利益	3,133,044	2,369,336
営業外収益		
受取利息	9,086	9,886
受取配当金	164,555	221,780
不動産賃貸料	54,514	53,141
受取保険金	-	5,816
為替差益	42,720	73,008
その他	27,383	48,877
営業外収益合計	298,260	412,510
営業外費用		
支払利息	5,808	5,855
賃貸収入原価	25,841	25,121
その他	6,886	6,483
営業外費用合計	38,536	37,460
経常利益	3,392,768	2,744,386
特別利益		
固定資産売却益	601	1,499
特別利益合計	601	1,499
特別損失		
固定資産除却損	17,650	55,070
資産撤去引当金繰入額	-	55,500
特別損失合計	17,650	110,570
税金等調整前四半期純利益	3,375,719	2,635,316
法人税等	911,181	784,938
四半期純利益	2,464,537	1,850,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,464,537	1,850,377

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,464,537	1,850,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	778,432	△820,894
為替換算調整勘定	△90,784	276,855
退職給付に係る調整額	△11,398	△12,210
その他の包括利益合計	676,249	△556,249
四半期包括利益	3,140,786	1,294,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,140,786	1,294,128
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,378,934	2,957,633	17,336,568	—	17,336,568
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,378,934	2,957,633	17,336,568	—	17,336,568
セグメント利益	2,785,396	879,514	3,664,911	△531,866	3,133,044

(注) 1. セグメント利益の調整額△531,866千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,663,163	2,965,790	18,628,953	—	18,628,953
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,663,163	2,965,790	18,628,953	—	18,628,953
セグメント利益	2,263,821	743,590	3,007,411	△638,075	2,369,336

(注) 1. セグメント利益の調整額△638,075千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	11,994,775	2,957,633	14,952,408
海外	2,384,159	—	2,384,159
計	14,378,934	2,957,633	17,336,568

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	12,554,197	2,965,790	15,519,987
海外	3,108,965	—	3,108,965
計	15,663,163	2,965,790	18,628,953